

楽天・資産づくりファンド(のんびりコース)

当期末	
基準価額	9,732円
純資産総額	105百万円
騰落率	△2.7%
分配金合計	0円

楽天・資産づくりファンド(じっくりコース)

当期末	
基準価額	10,074円
純資産総額	553百万円
騰落率	0.7%
分配金合計	0円

楽天・資産づくりファンド(なかなかコース)

当期末	
基準価額	10,407円
純資産総額	1,980百万円
騰落率	4.1%
分配金合計	0円

楽天・資産づくりファンド(しっかりコース)

当期末	
基準価額	10,763円
純資産総額	3,228百万円
騰落率	7.6%
分配金合計	0円

楽天・資産づくりファンド(がっちりコース)

当期末	
基準価額	11,069円
純資産総額	3,308百万円
騰落率	10.7%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。
 - <運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
 - 右記ホームページアドレスにアクセス
 - ⇒「基準価額一覧」から当該ファンドを選択
 - ⇒「運用報告書(全体版)」を選択し、閲覧およびダウンロード
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

楽天・資産づくりファンド

(のんびりコース) / (じっくりコース) /
(なかなかコース) / (しっかりコース) / (がっちりコース)

追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第1期(決算日 2022年4月20日)

(作成対象期間 2021年6月11日~2022年4月20日)

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いました。当ファンドは、主に投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界の株式、不動産投信(リート)および債券に広く分散投資を行うことで、リスク分散を図りながら収益の獲得を目指して運用を行いました。ここに当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

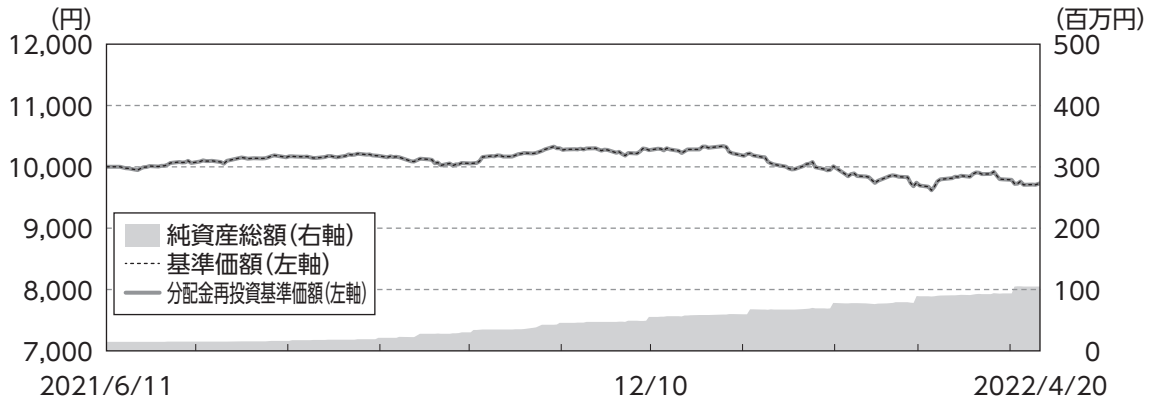
<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号
本資料(交付運用報告書)の記載内容のお問い合わせ先
TEL: 03-6432-7746
受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで
※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

Rakuten 楽天投信投資顧問

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



設定日：10,000円

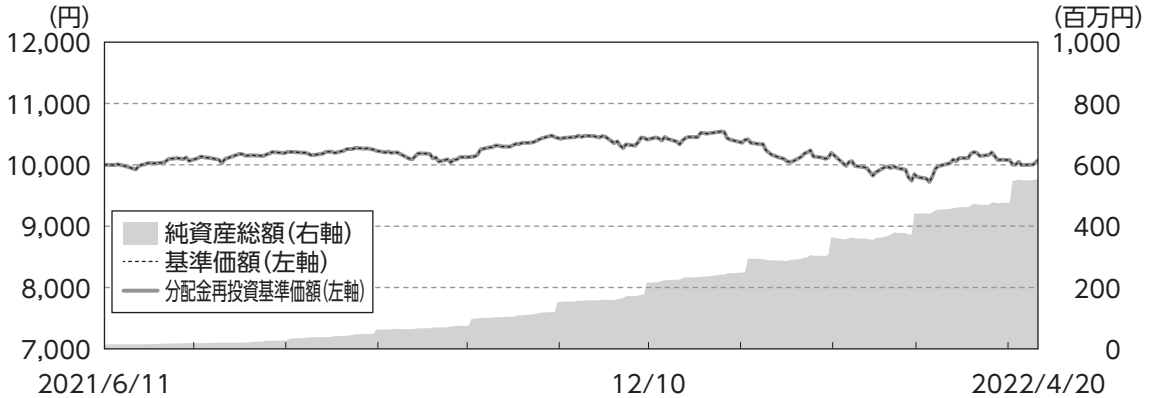
期 末：9,732円(既払分配金0円)

騰落率：△2.7%(分配金再投資ベース)

- (注1)分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3)分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注4)設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



設定日：10,000円

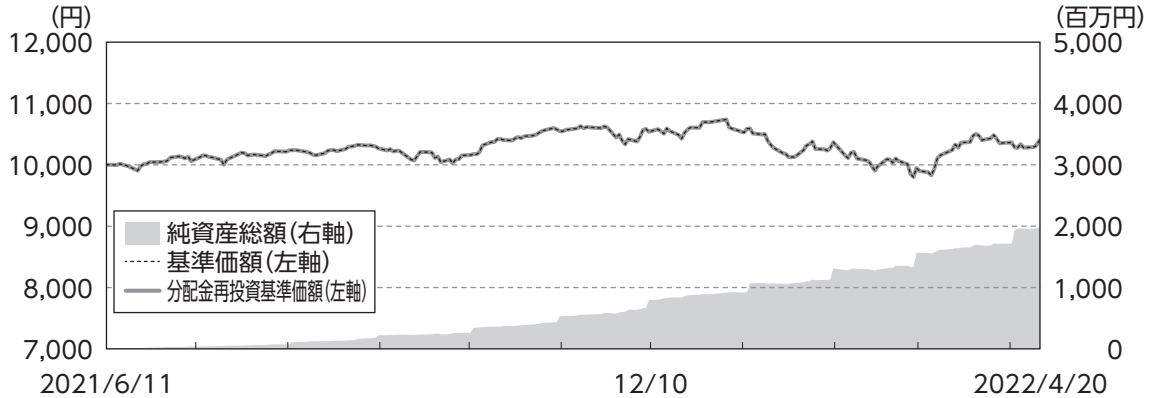
期 末：10,074円(既払分配金0円)

騰落率：0.7%(分配金再投資ベース)

- (注1)分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3)分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注4)設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



設定日：10,000円

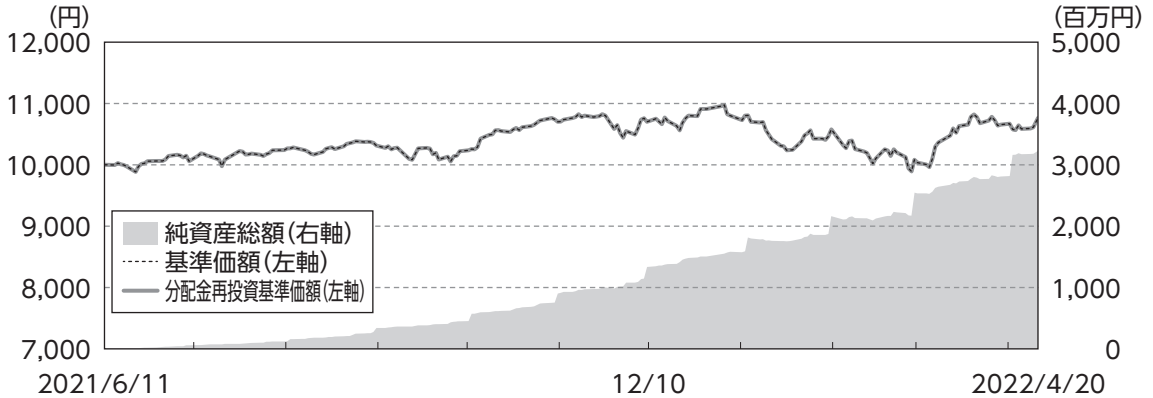
期 末：10,407円(既払分配金0円)

騰落率：4.1%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注4) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



設定日：10,000円

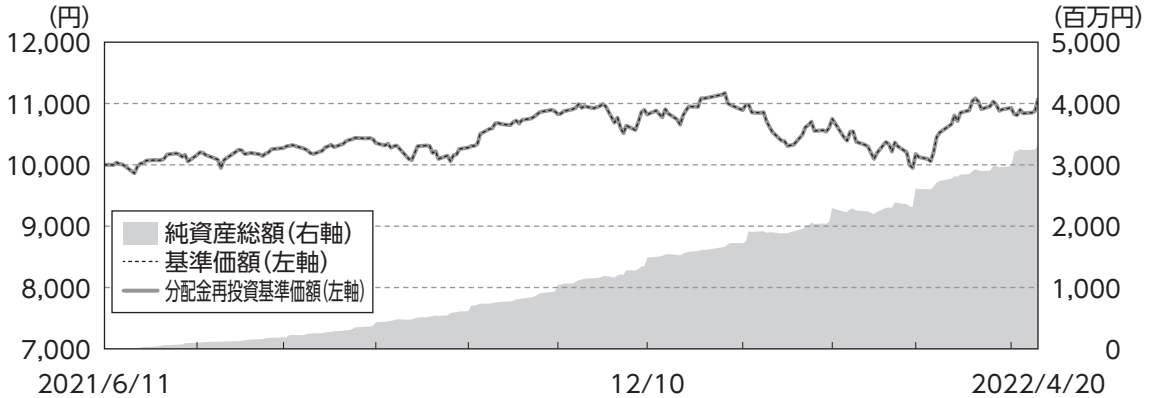
期 末：10,763円(既払分配金0円)

騰落率：7.6%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注4) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：11,069円(既払分配金0円)

騰落率：10.7%(分配金再投資ベース)

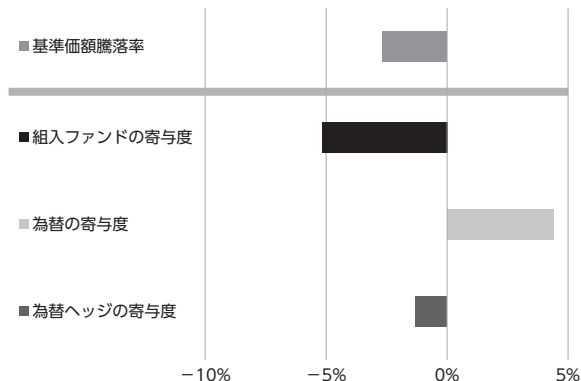
- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注4) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

2 基準価額の主な変動要因

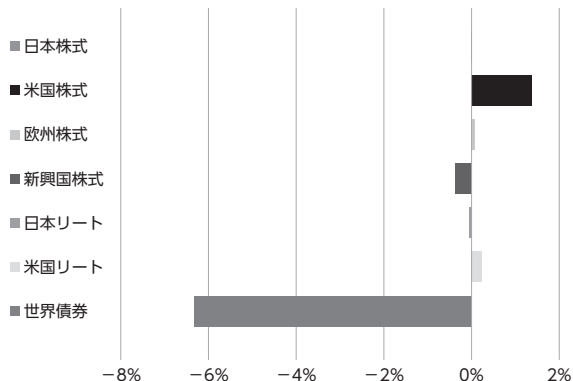
楽天・資産づくりファンド(のんびりコース)

米国株式市場や米国リート市場の上昇、米ドルはじめ主要通貨に対しての円安の進行等がプラスに寄与した一方、主要国の債券市場で金利が上昇(価格は下落)したことが主なマイナス寄与となりました。

基準価額の要因分析



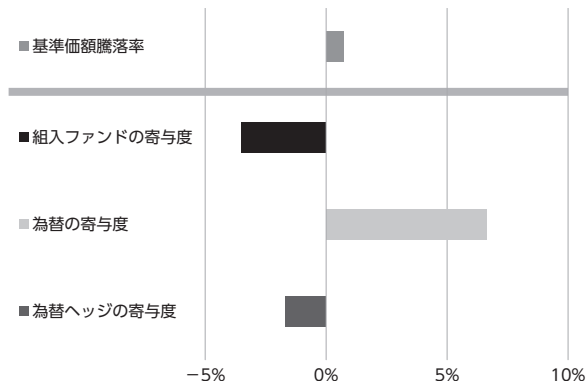
組入ファンドの寄与度



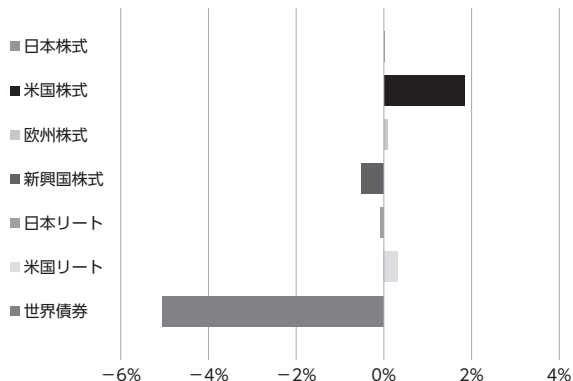
楽天・資産づくりファンド(じっくりコース)

米国株式市場や米国リート市場の上昇、米ドルはじめ主要通貨に対しての円安の進行等がプラスに寄与した一方、主要国の債券市場で金利が上昇(価格は下落)したことが主なマイナス寄与となりました。

基準価額の要因分析



組入ファンドの寄与度



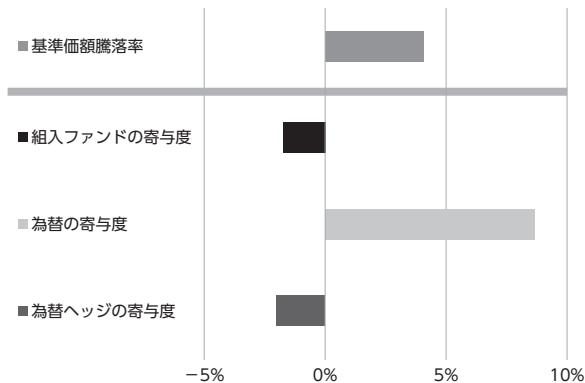
※「組入ファンドの寄与度」は、各組入ファンドの評価・実現損益の日次変化額(組入ファンドの基準通貨における対円貨での為替変動の影響は排除)を、「為替の寄与度」は、各外貨建て資産の対円貨での為替評価損益額の日次変化額を、「為替ヘッジの寄与度」は、為替予約取引における予約外貨の対円貨での評価・実現損益額の日次変化額を、それぞれ実質純資産総額(基準価額適用日ベースで追加設定・一部解約額を調整した純資産総額)で除し、その比率を日々積み上げた概算値です。

上記「基準価額の要因分析」および「組入ファンドの寄与度」は、基準価額の変動要因の傾向をご理解いただくために楽天投信投資顧問が算出した概算値であり、実際の変動要因を正確に説明するものではありません。

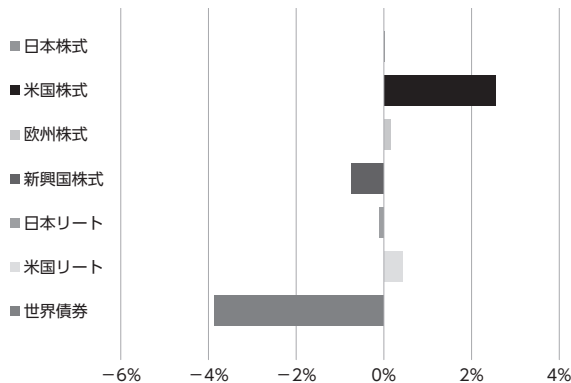
楽天・資産づくりファンド(なかなかコース)

米国株式市場や米国リート市場の上昇、米ドルはじめ主要通貨に対しての円安の進行等がプラスに寄与した一方、主要国の債券市場で金利が上昇(価格は下落)したことが主なマイナス寄与となりました。

基準価額の要因分析



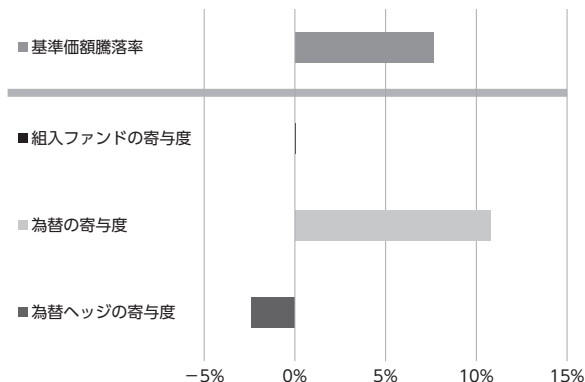
組入ファンドの寄与度



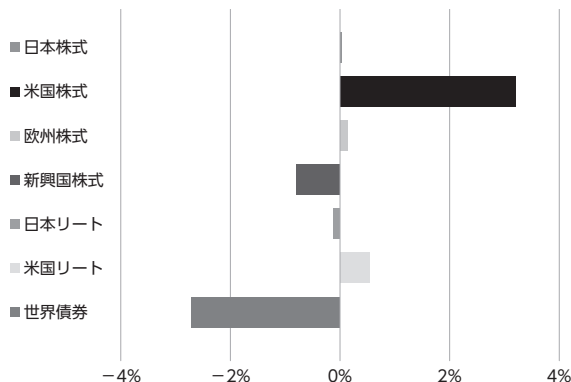
楽天・資産づくりファンド(しっかりコース)

米国株式市場や米国リート市場の上昇、米ドルはじめ主要通貨に対しての円安の進行等がプラスに寄与した一方、主要国の債券市場で金利が上昇(価格は下落)したことが主なマイナス寄与となりました。

基準価額の要因分析



組入ファンドの寄与度



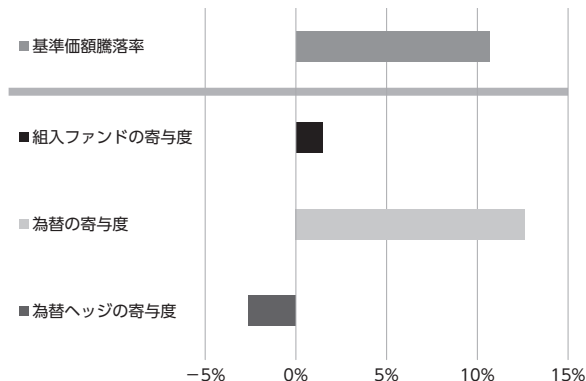
※「組入ファンドの寄与度」は、各組入ファンドの評価・実現損益の日次変化額(組入ファンドの基準通貨における対円貨での為替変動の影響は排除)を、「為替の寄与度」は、各外貨建て資産の対円貨での為替評価損益額の日次変化額を、「為替ヘッジの寄与度」は、為替予約取引における予約外貨の対円貨での評価・実現損益額の日次変化額を、それぞれ実質純資産総額(基準価額適用日ベースで追加設定・一部解約額を調整した純資産総額)で除し、その比率を日々積み上げた概算値です。

上記「基準価額の要因分析」および「組入ファンドの寄与度」は、基準価額の変動要因の傾向をご理解いただくために楽天投信投資顧問が算出した概算値であり、実際の変動要因を正確に説明するものではありません。

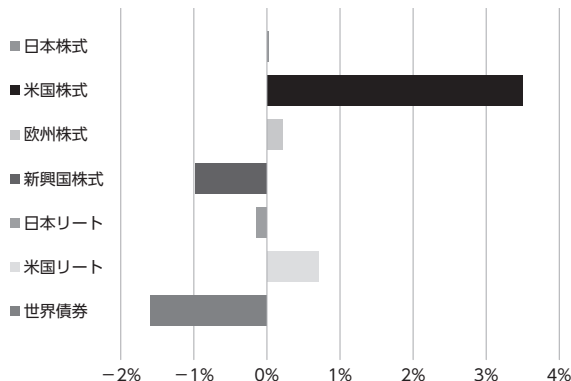
楽天・資産づくりファンド(がっちりコース)

米国株式市場や米国リート市場の上昇、米ドルはじめ主要通貨に対する円安の進行等がプラスに寄与した一方、主要国の債券市場で金利が上昇(価格は下落)したことが主なマイナス寄与となりました。

基準価額の要因分析



組入ファンドの寄与度



※「組入ファンドの寄与度」は、各組入ファンドの評価・実現損益の日次変化額(組入ファンドの基準通貨における対円貨での為替変動の影響は排除)を、「為替の寄与度」は、各外貨建て資産の対円貨での為替評価損益額の日次変化額を、「為替ヘッジの寄与度」は、為替予約取引における予約外貨の対円貨での評価・実現損益額の日次変化額を、それぞれ実質純資産総額(基準価額適用日ベースで追加設定・一部解約額を調整した純資産総額)で除し、その比率を日々積み上げた概算値です。

上記「基準価額の要因分析」および「組入ファンドの寄与度」は、基準価額の変動要因の傾向をご理解いただくために楽天投信投資顧問が算出した概算値であり、実際の変動要因を正確に説明するものではありません。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2021年6月11日～2022年4月20日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	35円	0.345%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,095円です。
(投信会社)	(15)	(0.151)	・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(17)	(0.170)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.024)	・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.024	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託証券)	(2)	(0.024)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	7	0.065	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(－)	(－)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(－)	(－)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(7)	(0.065)	・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	44	0.434	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2021年6月11日～2022年4月20日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社)	35円 (15)	0.345% (0.151)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,210円です。 ・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(17)	(0.170)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(受託会社)	(2)	(0.024)	
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	5 (5)	0.049 (0.049)	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用)	8 (－)	0.077 (－)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
(監査費用)	(－)	(－)	
(印刷費用)	(8)	(0.077)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合 計	48	0.471	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2021年6月11日～2022年4月20日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	36円	0.345%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,310円です。
(投信会社)	(16)	(0.151)	・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(18)	(0.170)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.024)	・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.065	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託証券)	(7)	(0.065)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	14	0.132	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(6)	(0.054)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(-)	(-)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(8)	(0.078)	・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	57	0.542	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2021年6月11日～2022年4月20日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	36円	0.345%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,436円です。
(投信会社)	(16)	(0.151)	・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(18)	(0.170)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.024)	・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	8	0.076	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託証券)	(8)	(0.076)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	12	0.114	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(4)	(0.036)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(－)	(－)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(8)	(0.078)	・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	56	0.535	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2021年6月11日～2022年4月20日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	36円	0.345%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,534円です。
(投信会社)	(16)	(0.151)	・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(18)	(0.170)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.024)	・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	9	0.082	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料 期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(9)	(0.082)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税 期中の平均受益権口数
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に 関する税金
(d) その他費用	12	0.111	(d) その他費用＝期中のその他費用 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.035)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券 等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(－)	(－)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る 費用
(印刷費用)	(8)	(0.075)	・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等 の作成、印刷および提出等に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、そ 他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	57	0.538	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

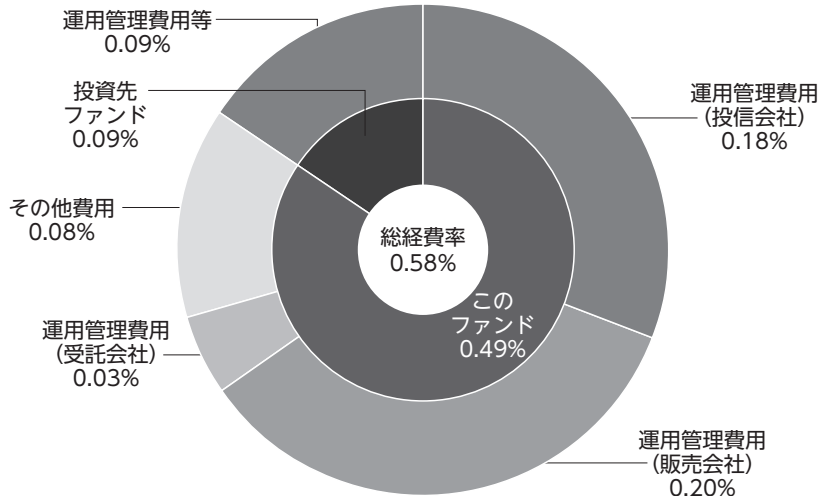
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.58%です。



総経費率 (①+②)	0.58%
①このファンドの費用の比率	0.49%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.09%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

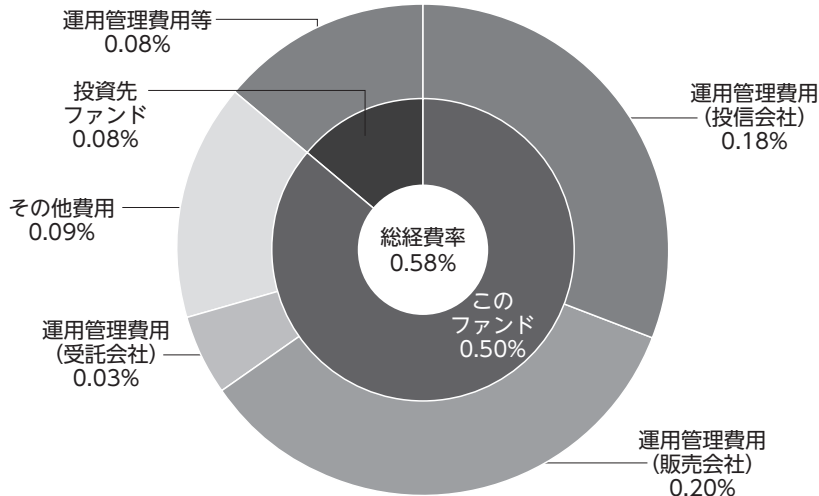
(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.58%です。



総経費率 (①+②)	0.58%
①このファンドの費用の比率	0.50%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.08%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

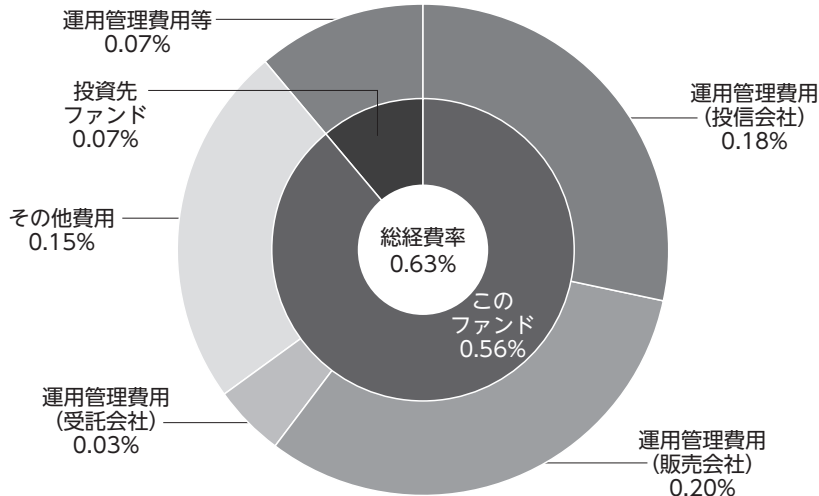
(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.63%です。



総経費率 (①+②)	0.63%
①このファンドの費用の比率	0.56%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.07%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

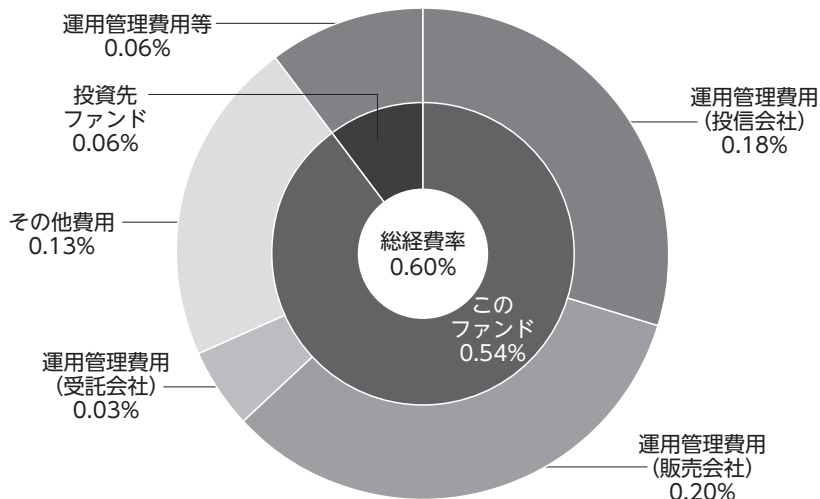
(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.60%です。



総経費率 (①+②)	0.60%
①このファンドの費用の比率	0.54%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.06%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

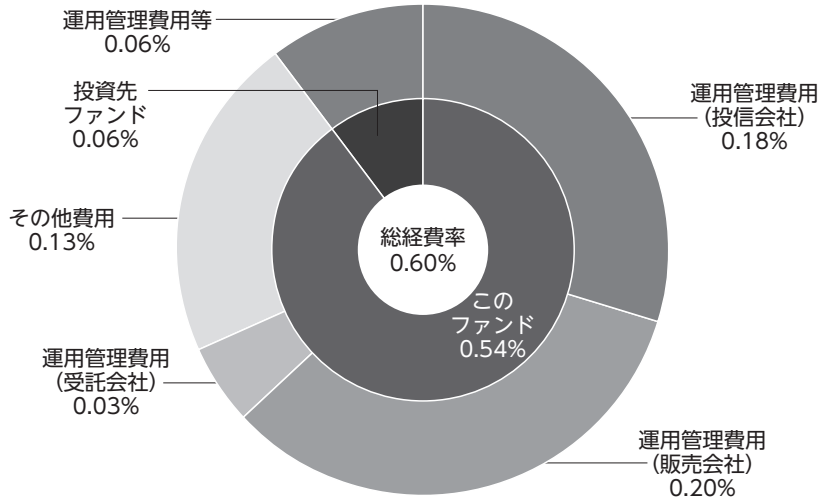
(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.60%です。



総経費率 (①+②)	0.60%
①このファンドの費用の比率	0.54%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.06%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(2017年4月20日～2022年4月20日)

4 最近5年間の基準価額等の推移

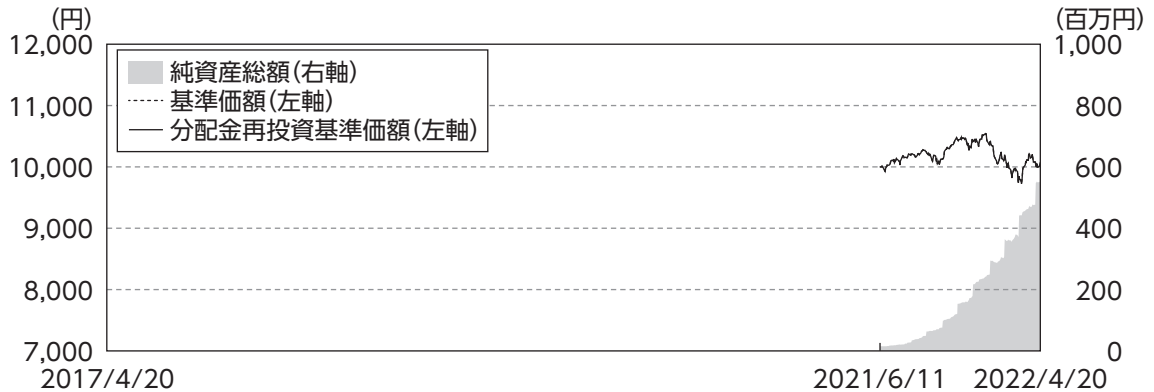


	2021年6月11日 設定日	2022年4月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,732
期間分配金合計(税込) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△2.7
純資産総額 (百万円)	15	105

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、2021年6月11日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

(2017年4月20日～2022年4月20日)

4 最近5年間の基準価額等の推移



	2021年6月11日 設定日	2022年4月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,074
期間分配金合計(税込) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.7
純資産総額 (百万円)	15	553

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

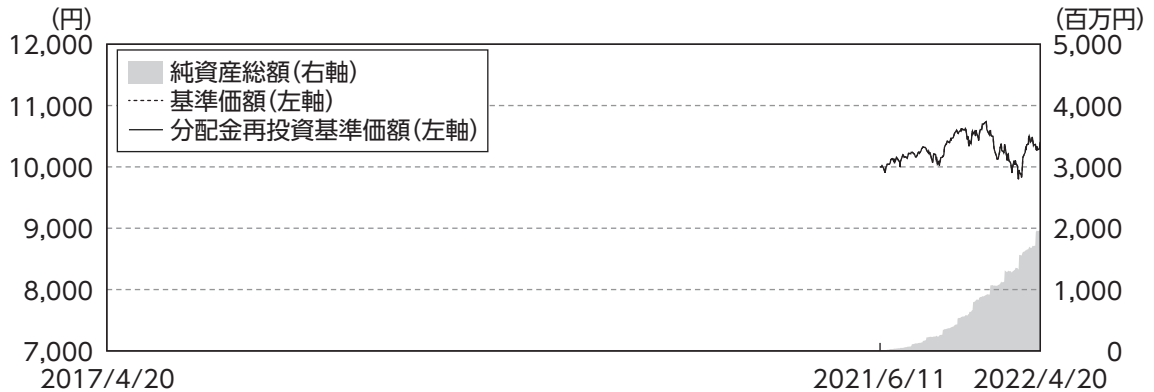
(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、2021年6月11日の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

(2017年4月20日～2022年4月20日)

4 最近5年間の基準価額等の推移



	2021年6月11日 設定日	2022年4月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,407
期間分配金合計(税込) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.1
純資産総額 (百万円)	15	1,980

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

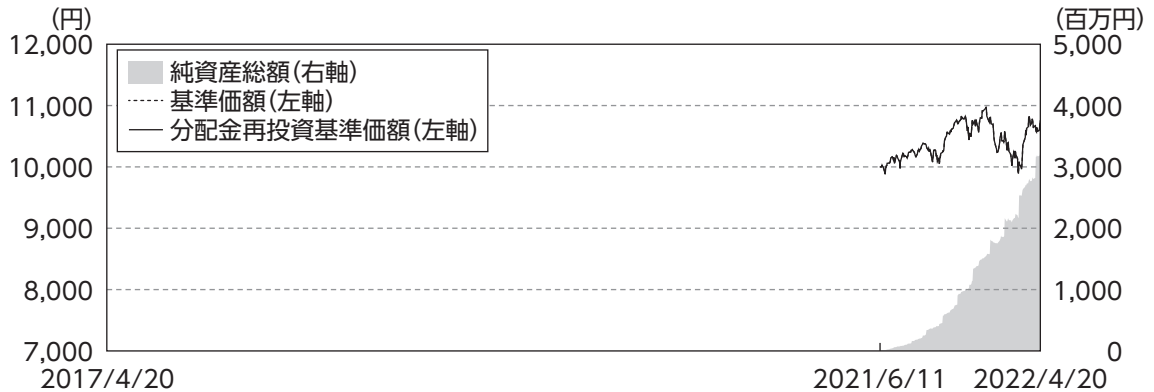
(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、2021年6月11日の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

(2017年4月20日～2022年4月20日)

4 最近5年間の基準価額等の推移



	2021年6月11日 設定日	2022年4月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,763
期間分配金合計(税込) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.6
純資産総額 (百万円)	15	3,228

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

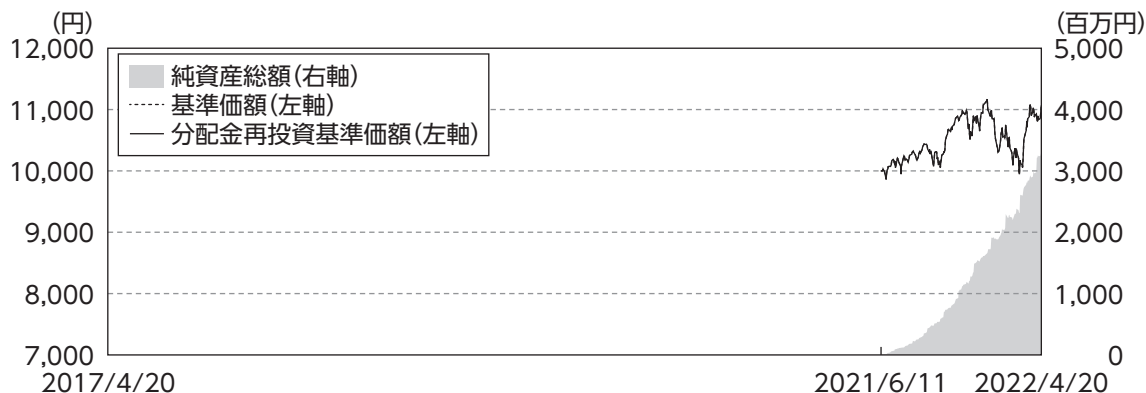
(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、2021年6月11日の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

(2017年4月20日～2022年4月20日)

4 最近5年間の基準価額等の推移



	2021年6月11日 設定日	2022年4月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,069
期間分配金合計(税込) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	10.7
純資産総額 (百万円)	15	3,308

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、2021年6月11日の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

5 投資環境

●先進国株式・新興国株式

当期の先進国株式市場は、米国株式や欧州株式は上昇したものの、日本株式は下落しました。2021年中は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた景気減速懸念などから短期的に調整色を強める場面があったものの、米政府による追加経済対策や各国におけるワクチン接種の進展などを背景にグローバル規模で経済活動正常化への期待が高まったほか、企業決算の改善も支援材料に、米欧株式は堅調地合いを保ち、日本株式市場も底堅い推移となりました。しかし、2022年に入ってから、インフレ圧力の高まりを背景にFRB(米連邦準備制度理事会)をはじめ主要中央銀行による早期金融政策正常化に対する警戒感が高まったことやロシアによるウクライナへの軍事侵攻と戦闘の長期化、中国での新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウン(都市封鎖)などを受けた同国の景気鈍化懸念の強まりなどを背景に、調整圧力が高まる展開となりました。そうしたなかでも、2021年中の上昇幅が相対的に大きかった米欧株式はプラス圏で当期末を迎えたものの、日本株式は2021年中の上昇分をすべて吐き出す推移となりました。

当期の新興国株式は、大きく下落しました。期を通じて、米長期金利の上昇やそれに伴う米ドル高が嫌気されたほか、中国の景気減速懸念も重しとなり、上値の重い展開が続きました。特に、2022年2月以降はウクライナ情勢が急速に緊迫するなか、ロシア株式が急落し、代表的な指数から同国を排除する動きが広がったほか、中国政府が推進するゼロコロナ政策(感染拡大を徹底的に抑え込もうとする政策)によって同国の景気が失速することへの警戒が一段と強まり、下落が加速する展開となりました。

●先進国債券

当期の先進国債券市場は、期初から上値の重い軟調な推移が目立ち、2022年2月以降、大きく調整しました。国債市場では、新型コロナウイルスの感染拡大がもたらしたサプライチェーン(供給網)の混乱や原油価格の上昇などを背景としたインフレ圧力の高まりが当初想定されたよりも長期間にわたって継続するなか、FRBをはじめ主要中央銀行による金融政策の早期正常化観測が高まり、期を通して利回りには上昇圧力がかかり続けました。2021年12月にはイングランド銀行が2020年の新型コロナウイルスの感染拡大以降、日米欧の主要中銀で初めてとなる利上げを実施したほか、2022年3月にはカナダや米国でも利上げが実施され、欧州でもECB(欧州中央銀行)の早期利上げ観測が高まったことなどから、期末にかけて長期金利の上昇圧力が一段と強まり、債券価格の下落が加速する展開となりました。

●リート

当期の米国リートはまとまって上昇した一方、日本リートは下落しました。

米国リートは長期金利の上昇や、地政学リスクの高まり等が売り圧力として熾り続けたものの、コロナ禍を経て米国における労働市場が回復基調を強め、経済活動の正常化が進むなかで、米国リーートの業績改善が進んだことが相場を押し上げました。また、主要投資対象が米国内の不動産であり、ウクライナ情勢の悪化による直接的な影響を受けにくい特性も支援材料となりました。

日本リートは、2021年中は国内での新型コロナウイルスの感染拡大などが重しとなり、上値の重い揉み合う推移が続きました。2022年に入ると、国内でも長期金利の上昇圧力が強まる一方、相次ぐ公募増資による需給悪化懸念も加わり、軟調地合いが強まる展開となりました。

●米ドル／円、ユーロ／円

当期の米ドル／円相場、ユーロ／円相場においては、円安が進みました。

米ドル／円相場は、期初から2021年9月下旬にかけては1米ドル=110円を挟んだ水準でのレンジ推移となりましたが、その後は米国における早期金融政策正常化観測などを背景に米ドル高／円安基調となりました。期末にかけては日米の金利差拡大や金融政策の方向性の違いを意識した米ドル買い／円売りが加速し、約20年ぶりとなる水準まで米ドル高／円安が進行しました。

ユーロ／円相場は、FRBの金融政策正常化の加速が意識されて米ドル高地合いとなり、円とユーロがともに対米ドルで弱くなるなか、2022年2月ごろまでは、まとまった方向感無く揉み合う推移が続きました。しかし、域内のインフレが高止まりし、ECBもタカ派(金融緩和の解除に前向きな姿勢)に転じるとの思惑が強まる一方、日本銀行が金融緩和を維持する姿勢を崩さなかったことから、期末にかけては大きく円安／ユーロ高が進む展開となりました。

6 当ファンドのポートフォリオ

投資先ファンドを通じて実質的に国内外の株式、不動産投信(リート)および債券に投資を行いました。各ファンドは、目標とするリスク水準に応じて決められた各投資先ファンドの組入比率に基づき組入を行いました。なお、2021年12月に目標組入比率を変更しました。

【各コースの目標組入比率と目標リスク水準】

	のんびりコース		じっくりコース		なかなかコース		しっかりコース		がっちりコース	
	期首	期末	期首	期末	期首	期末	期首	期末	期首	期末
日本株式	1.0%	1.0%	1.5%	1.5%	2.0%	2.0%	2.5%	2.5%	3.0%	3.0%
米国株式	19.4%	21.0%	30.0%	31.4%	39.3%	40.7%	48.7%	50.1%	57.3%	58.8%
うち 為替ヘッジなし	19.4%	12.0%	30.0%	19.9%	39.3%	27.1%	48.7%	34.0%	57.3%	40.8%
うち 為替ヘッジあり	0.0%	9.0%	0.0%	11.5%	0.0%	13.6%	0.0%	16.1%	0.0%	18.0%
欧州株式	2.5%	2.5%	3.5%	3.5%	4.5%	4.5%	5.5%	5.5%	6.5%	6.5%
うち 為替ヘッジなし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
うち 為替ヘッジあり	2.5%	2.5%	3.5%	3.5%	4.5%	4.5%	5.5%	5.5%	6.5%	6.5%
新興国株式(為替ヘッジなし)	2.5%	2.5%	3.5%	3.5%	4.5%	4.5%	5.0%	5.0%	6.0%	6.0%
日本リート	1.0%	1.0%	1.5%	1.5%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.5%	2.5%
米国リート	2.0%	2.0%	3.0%	3.0%	4.0%	4.0%	5.0%	5.0%	6.0%	6.0%
うち 為替ヘッジなし	2.0%	2.0%	3.0%	3.0%	4.0%	4.0%	5.0%	5.0%	6.0%	6.0%
うち 為替ヘッジあり	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
世界債券(為替ヘッジあり)	71.6%	70.0%	57.0%	55.6%	43.7%	42.3%	31.3%	29.9%	18.7%	17.2%
目標リスク水準(年率)	約5%程度		約7%程度		約9%程度		約11%程度		約13%程度	

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税込)

項 目	第1期
	2021年6月11日~2022年4月20日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	16

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税込)

項 目	第1期
	2021年6月11日~2022年4月20日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	73

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税込)

項 目	第1期
	2021年6月11日~2022年4月20日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	407

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税込)

項 目	第1期
	2021年6月11日~2022年4月20日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	763

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税込)

項 目	第1期
	2021年6月11日~2022年4月20日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,069

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

各ファンドとも、目標とするリスク水準に応じて、各投資先ファンドの目標組入比率を決定し、その目標とする比率が維持されるように、各投資先ファンドへの投資および為替ヘッジを実施します。

お知らせ

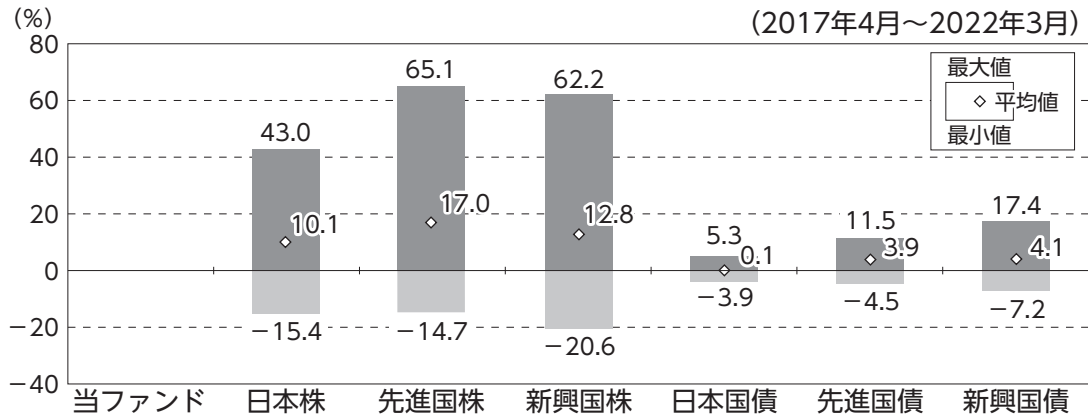
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合																																
信託期間	無期限(2021年6月11日設定)																																
運用方針	投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。																																
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。																																
運用方法	<p>①主に投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界の株式、不動産投信(リート)および債券に広く分散投資を行うことで、リスク分散を図りながら収益の獲得を目指します。</p> <p>②世界の株式、不動産投信(リート)および債券への投資にあたっては、資産クラスごとに、以下に定めるそれぞれの代表的な指数に連動する投資成果を目指して運用を行います。</p> <table border="1" data-bbox="312 536 1159 813"> <thead> <tr> <th colspan="2">資産クラス</th> <th>連動対象とする指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">株式</td> <td>日本株式</td> <td>TOPIX</td> </tr> <tr> <td>米国株式</td> <td>S&P 500 Index</td> </tr> <tr> <td>欧州株式</td> <td>STOXX Europe 600 Index</td> </tr> <tr> <td>新興国株式</td> <td>FTSE Emerging Index</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">不動産投信(リート)</td> <td>日本リート</td> <td>東証REIT指数</td> </tr> <tr> <td>米国リート</td> <td>FTSE NAREIT Equity REITs Index</td> </tr> <tr> <td>債券</td> <td>世界債券</td> <td>Bloomberg Global Aggregate Index</td> </tr> </tbody> </table> <p>※委託者は、上記資産クラスから組み合わせを行います。市況動向や目標とするリスク水準等によっては組入れを行わない資産クラスもあります。また、投資対象とする資産クラスは将来変更される場合があります。</p> <p>③為替変動リスクの低減を目的に、組入外貨建資産の一部について、対円での為替ヘッジを行うことがあります。</p> <p>④目標とするリスク水準(標準偏差)を年率約(※1)%程度に設定し、その水準に応じて、各資産クラスの中から適切と判断する投資信託証券を選定し、目標リスク水準となるようその組み合わせと比率、また為替ヘッジの比率を決定し、運用します。</p> <p>⑤投資信託証券への投資割合は、原則として高位を維持することを基本とします。</p> <p>上記、(※1)となっている箇所には下の表より各々の数字をあてはめてお読みください。</p> <table border="1" data-bbox="312 1156 1077 1368"> <thead> <tr> <th></th> <th>(※1)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>楽天・資産づくりファンド(のんびりコース)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>楽天・資産づくりファンド(じっくりコース)</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>楽天・資産づくりファンド(なかなかコース)</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>楽天・資産づくりファンド(しっかりコース)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>楽天・資産づくりファンド(がっちりコース)</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>※目標リスク水準は、今後変更される場合があります。</p>	資産クラス		連動対象とする指数	株式	日本株式	TOPIX	米国株式	S&P 500 Index	欧州株式	STOXX Europe 600 Index	新興国株式	FTSE Emerging Index	不動産投信(リート)	日本リート	東証REIT指数	米国リート	FTSE NAREIT Equity REITs Index	債券	世界債券	Bloomberg Global Aggregate Index		(※1)	楽天・資産づくりファンド(のんびりコース)	5	楽天・資産づくりファンド(じっくりコース)	7	楽天・資産づくりファンド(なかなかコース)	9	楽天・資産づくりファンド(しっかりコース)	11	楽天・資産づくりファンド(がっちりコース)	13
	資産クラス		連動対象とする指数																														
	株式	日本株式	TOPIX																														
		米国株式	S&P 500 Index																														
		欧州株式	STOXX Europe 600 Index																														
		新興国株式	FTSE Emerging Index																														
	不動産投信(リート)	日本リート	東証REIT指数																														
		米国リート	FTSE NAREIT Equity REITs Index																														
	債券	世界債券	Bloomberg Global Aggregate Index																														
		(※1)																															
楽天・資産づくりファンド(のんびりコース)	5																																
楽天・資産づくりファンド(じっくりコース)	7																																
楽天・資産づくりファンド(なかなかコース)	9																																
楽天・資産づくりファンド(しっかりコース)	11																																
楽天・資産づくりファンド(がっちりコース)	13																																

分 配 方 針	<p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。</p>
---------	---

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドは、設定日から基準日まで1年経過していないため、年間騰落率は記載していません。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス(円ベース)

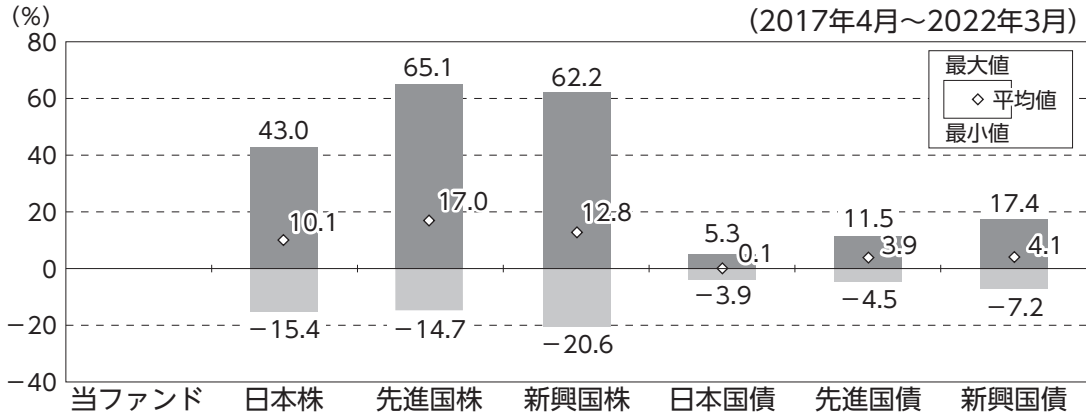
先進国債：ブルームバーグ・グローバル国債(日本除く)インデックス(円ベース)

新興国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て高流動性国債インデックス(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドは、設定日から基準日まで1年経過していないため、年間騰落率は記載していません。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス(円ベース)

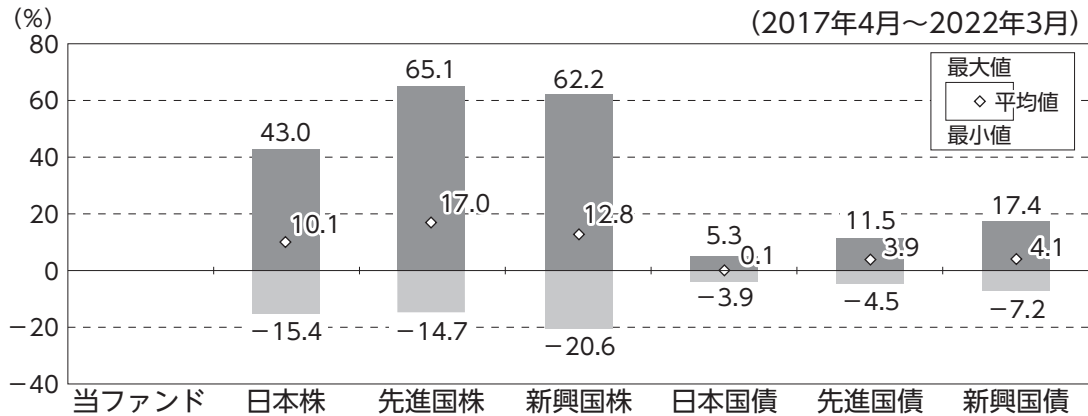
先進国債：ブルームバーグ・グローバル国債(日本除く)インデックス(円ベース)

新興国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て高流動性国債インデックス(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドは、設定日から基準日まで1年経過していないため、年間騰落率は記載していません。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス(円ベース)

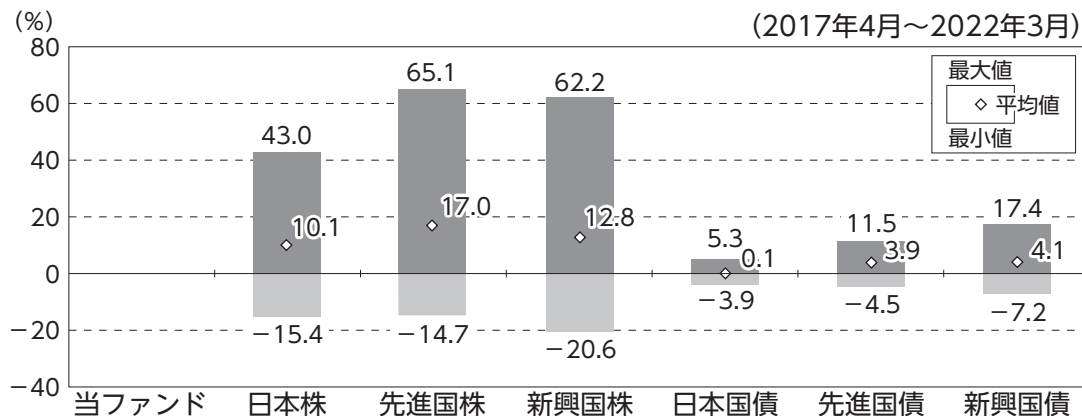
先進国債：ブルームバーグ・グローバル国債(日本除く)インデックス(円ベース)

新興国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て高流動性国債インデックス(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドは、設定日から基準日まで1年経過していないため、年間騰落率は記載していません。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス(円ベース)

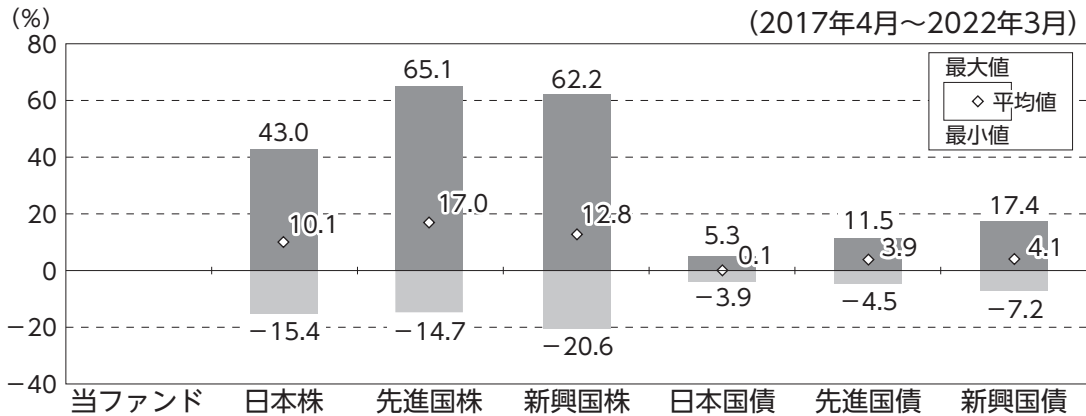
先進国債：ブルームバーグ・グローバル国債(日本除く)インデックス(円ベース)

新興国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て高流動性国債インデックス(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドは、設定日から基準日まで1年経過していないため、年間騰落率は記載していません。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス(円ベース)

先進国債：ブルームバーグ・グローバル国債(日本除く)インデックス(円ベース)

新興国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て高流動性国債インデックス(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

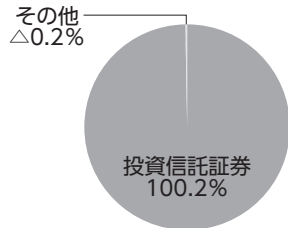
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

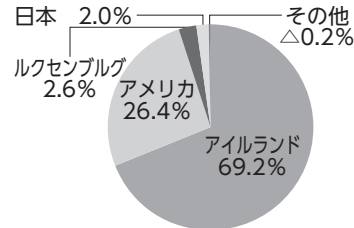
■組入ファンド

	当期末
バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエスシー・バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド・インスティテューショナル・プラス円ヘッジAcc	69.2%
バンガード・S&P500 ETF	21.9%
Lyxor Core STOXX Europe 600 ETF	2.6%
シュワブ・エマージング・マーケット株式ETF	2.4%
iシェアーズ・コア 米国REIT ETF	2.1%
iシェアーズ・コア TOPIX ETF	1.0%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	1.0%
その他	△0.2%
組入ファンド数	7

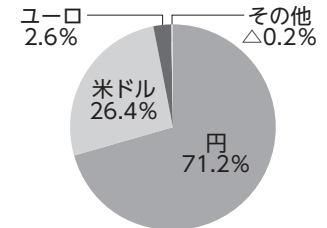
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項目	第1期末
	2022年4月20日
純資産総額	105,187,063円
受益権総口数	108,081,823口
1万口当たり基準価額	9,732円

※期中における追加設定元本額は101,159,287円、同解約元本額は8,077,464円です。

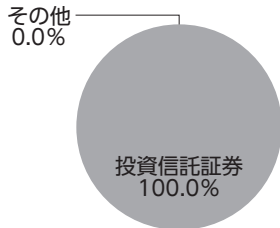
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

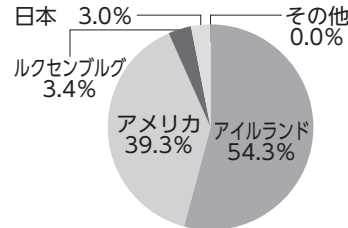
■組入ファンド

	当期末
バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエスシー・バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド・インスティテューショナル・プラス円ヘッジAcc	54.3%
バンガード・S&P500 ETF	32.5%
シュワブ・エマージング・マーケット株式ETF	3.6%
Lyxor Core STOXX Europe 600 ETF	3.4%
iシェアーズ・コア 米国REIT ETF	3.2%
iシェアーズ・コア TOPIX ETF	1.5%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	1.5%
その他	0.0%
組入ファンド数	7

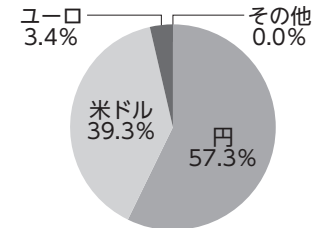
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項目	第1期末
	2022年4月20日
純資産総額	553,818,976円
受益権総口数	549,754,343口
1万口当たり基準価額	10,074円

※期中における追加設定元本額は559,142,097円、同解約元本額は24,387,754円です。

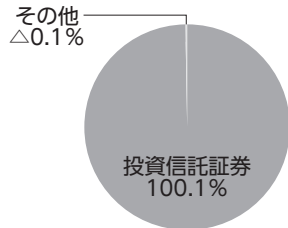
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

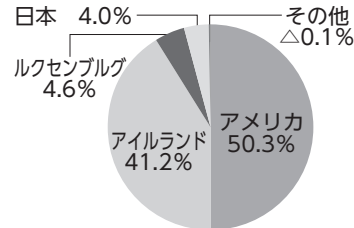
■組入ファンド

	当期末
バンガード・S&P500 ETF	41.6%
バンガード・インバースメント・シリーズ・ピーエルシー・バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド・インスティテューショナル・プラス円ヘッジAcc	41.2%
Lyxor Core STOXX Europe 600 ETF	4.6%
シュワブ・エマージング・マーケット株式ETF	4.5%
iシェアーズ・コア 米国REIT ETF	4.2%
iシェアーズ・コア TOPIX ETF	2.0%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	2.0%
その他	△0.1%
組入ファンド数	7

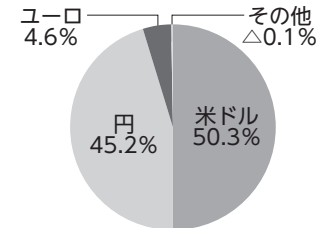
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第1期末
	2022年4月20日
純 資 産 総 額	1,980,925,211円
受 益 権 総 口 数	1,903,397,870口
1万口当たり基準価額	10,407円

※期中における追加設定元本額は2,015,317,226円、同解約元本額は126,919,356円です。

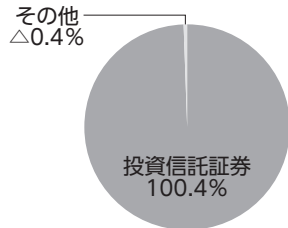
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

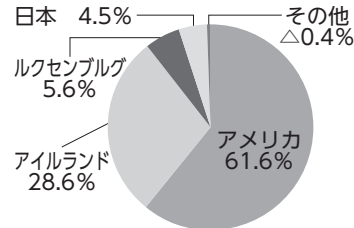
■組入ファンド

	当期末
バンガード・S&P500 ETF	51.3%
バンガード・インバースメント・シリーズ・ピーエルシー・バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド・インスティテューショナル・プラス円ヘッジAcc	28.6%
Lyxor Core STOXX Europe 600 ETF	5.6%
iシェアーズ・コア 米国REIT ETF	5.2%
シュワブ・エマージング・マーケット株式ETF	5.0%
iシェアーズ・コア TOPIX ETF	2.5%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	1.9%
その他	△0.4%
組入ファンド数	7

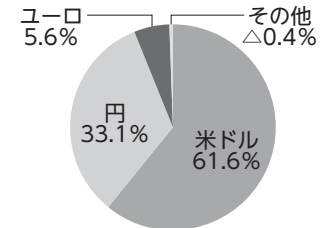
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第1期末
	2022年4月20日
純 資 産 総 額	3,228,032,719円
受 益 権 総 口 数	2,999,121,808口
1万口当たり基準価額	10,763円

※期中における追加設定元本額は3,182,960,493円、同解約元本額は198,838,685円です。

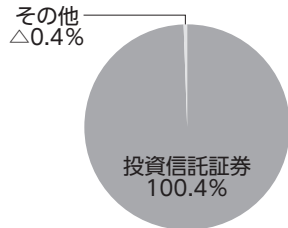
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

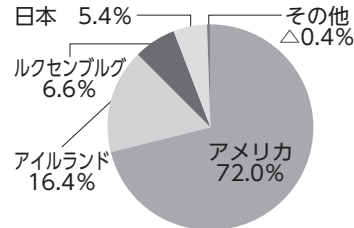
■組入ファンド

	当期末
バンガード・S&P500 ETF	59.7%
バンガード・インバースメント・シリーズ・ピーエスシー・バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド・インスティテューショナル・プラス円ヘッジAcc	16.4%
Lyxor Core STOXX Europe 600 ETF	6.6%
iシェアーズ・コア 米国REIT ETF	6.2%
シュワブ・エマージング・マーケット株式ETF	6.0%
iシェアーズ・コア TOPIX ETF	3.0%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	2.4%
その他	△0.4%
組入ファンド数	7

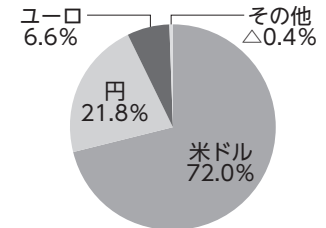
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第1期末
	2022年4月20日
純 資 産 総 額	3,308,367,049円
受 益 権 総 口 数	2,988,808,356口
1万口当たり基準価額	11,069円

※期中における追加設定元本額は3,275,255,598円、同解約元本額は301,447,242円です。

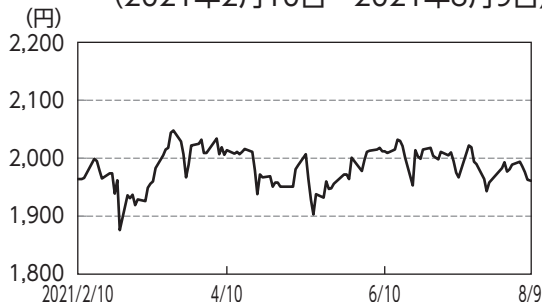
3 組入ファンドの概要

iシェアーズ・コア TOPIX ETF

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2021年2月10日～2021年8月9日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

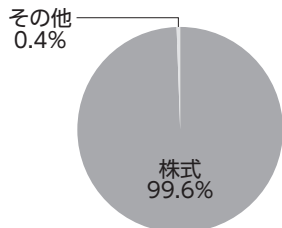
■組入上位10銘柄

(2021年8月9日現在)

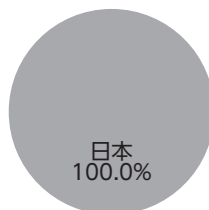
	銘柄名	国／地域	比率 %
1	トヨタ自動車	日本	3.7
2	ソニー	日本	2.7
3	キーエンス	日本	2.3
4	ソフトバンクグループ	日本	2.0
5	リクルートホールディングス	日本	1.5
6	三菱UFJフィナンシャルG	日本	1.5
7	HOYA	日本	1.2
8	信越化学	日本	1.2
9	日本電信電話	日本	1.2
10	ダイキン工業	日本	1.2
組入銘柄数		2,189	

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

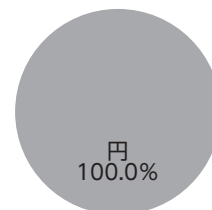
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

3 組入ファンドの概要

バンガード・S&P500 ETF

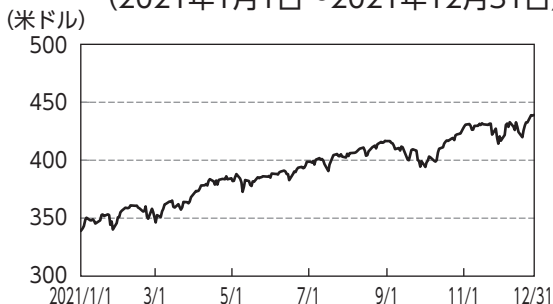
運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2021年1月1日～2021年12月31日)

■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。



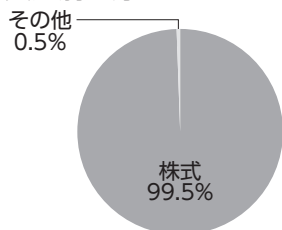
■組入上位10銘柄

(2021年12月31日現在)

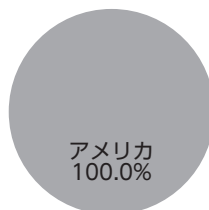
	銘柄名	国／地域	比率 %
1	Apple Inc.	アメリカ	6.8
2	Microsoft Corp.	アメリカ	6.2
3	Amazon.com Inc.	アメリカ	3.6
4	Alphabet Inc.	アメリカ	2.1
5	Tesla Inc.	アメリカ	2.1
6	Alphabet Inc.	アメリカ	2.0
7	Meta Platforms Inc.	アメリカ	2.0
8	NVIDIA Corp.	アメリカ	1.8
9	Berkshire Hathaway Inc.	アメリカ	1.4
10	UnitedHealth Group Inc.	アメリカ	1.2
組入銘柄数		507	

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

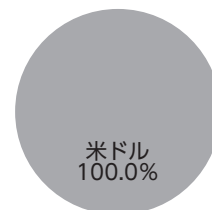
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

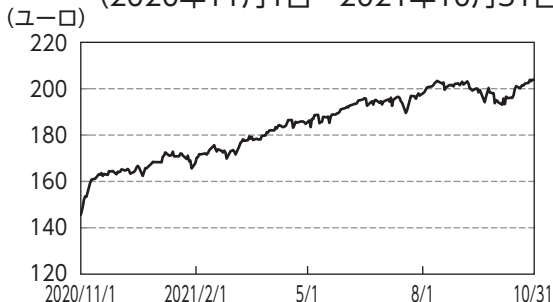
3 組入ファンドの概要

Lyxor Core STOXX Europe 600 ETF

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2020年11月1日～2021年10月31日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

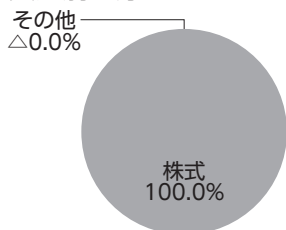
■組入上位10銘柄

(2021年10月31日現在)

	銘柄名	通貨	比率 %
1	NESTLE SA	スイスフラン	3.1
2	ASML HOLDING NV	ユーロ	2.8
3	ROCHE HOLDING AG	スイスフラン	2.3
4	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	ユーロ	1.7
5	NOVARTIS AG - REG	スイスフラン	1.7
6	ASTRAZENECA PLC	イギリスポンド	1.6
7	NOVO NORDISK A/S	デンマーククローネ	1.5
8	LINDE PLC	ユーロ	1.4
9	SAP SE	ユーロ	1.3
10	UNILEVER PLC	イギリスポンド	1.2
	組入銘柄数		609

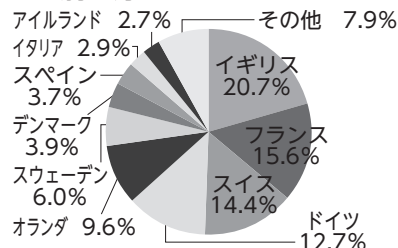
(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■資産別配分



(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■国別配分



■通貨別配分

当該情報が取得できないため記載しておりません。

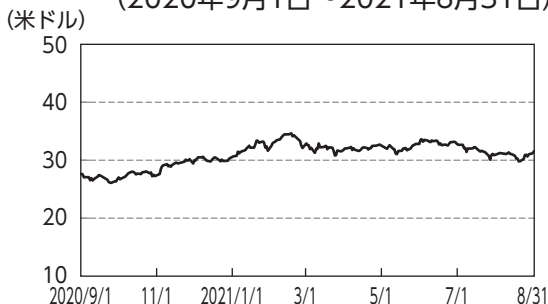
3 組入ファンドの概要

シュワブ・エマージング・マーケット株式ETF

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2020年9月1日～2021年8月31日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

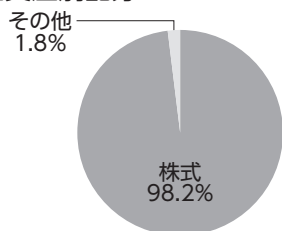
■組入上位10銘柄

(2021年8月31日現在)

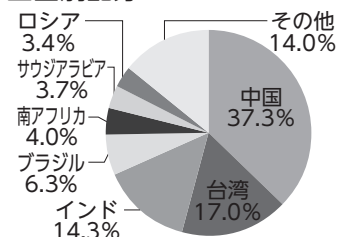
	銘柄名	国／地域	比率 %
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	台湾	7.3
2	Tencent Holdings Ltd.	中国	5.1
3	Alibaba Group Holding Ltd.	中国	4.2
4	Meituan, B Shares	中国	1.7
5	Reliance Industries Ltd.	インド	1.3
6	Infosys Ltd.	インド	1.2
7	Vale S.A.	ブラジル	1.1
8	China Construction Bank Corp., H Shares	中国	0.9
9	Housing Development Finance Corp., Ltd.	インド	0.9
10	Tata Consultancy Services Ltd.	インド	0.7
	組入銘柄数	1,602	

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■資産別配分



■国別配分



(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■通貨別配分

当該情報が取得できないため記載しておりません。

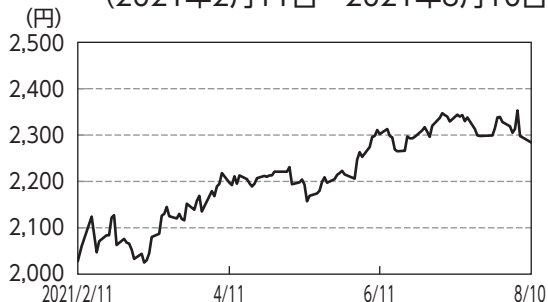
3 組入ファンドの概要

NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2021年2月11日～2021年8月10日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

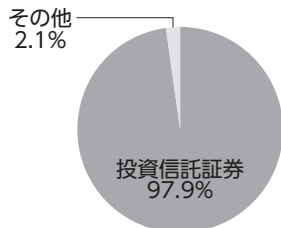
■組入上位10銘柄

(2021年8月10日現在)

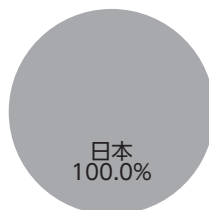
	銘柄名	国/地域	比率 %
1	日本ビルファンド投資法人 投資証券	日本	6.8
2	ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券	日本	5.7
3	GLP 投資法人 投資証券	日本	5.4
4	日本プロロジスリート投資法人 投資証券	日本	5.0
5	日本都市ファンド投資法人 投資証券	日本	4.6
6	野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券	日本	4.6
7	大和ハウスリート投資法人 投資証券	日本	4.0
8	オリックス不動産投資法人 投資証券	日本	3.4
9	アドバンス・レジデンス投資法人 投資証券	日本	3.1
10	ユナイテッド・アーバン投資法人 投資証券	日本	3.1
	組入銘柄数		62

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

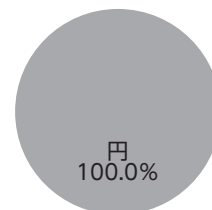
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

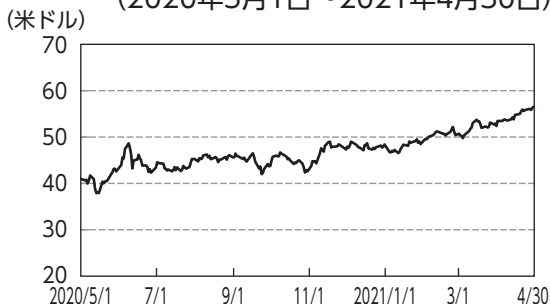
3 組入ファンドの概要

iシェアーズ・コア 米国REIT ETF

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2020年5月1日～2021年4月30日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

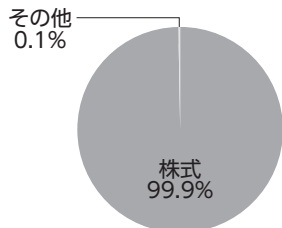
■組入上位10銘柄

(2021年4月30日現在)

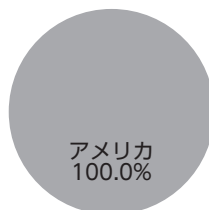
	銘柄名	国／地域	比率 %
1	PROLOGIS REIT INC	アメリカ	8.0
2	EQUINIX REIT INC	アメリカ	6.0
3	DIGITAL REALTY TRUST REIT INC	アメリカ	4.0
4	PUBLIC STORAGE REIT	アメリカ	3.9
5	SIMON PROPERTY GROUP REIT INC	アメリカ	3.7
6	WELLTOWER INC	アメリカ	2.9
7	EQUITY RESIDENTIAL REIT	アメリカ	2.5
8	AVALONBAY COMMUNITIES REIT INC	アメリカ	2.5
9	REALTY INCOME REIT CORP	アメリカ	2.4
10	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUITIES RE	アメリカ	2.3
	組入銘柄数		150

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

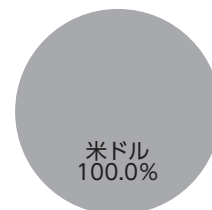
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

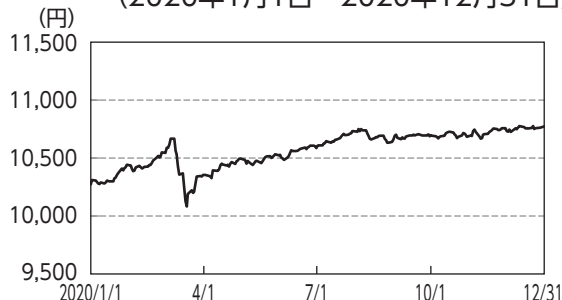
3 組入ファンドの概要

バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエルシー・バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド・インスティテューショナル・プラス円ヘッジAcc

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2020年1月1日～2020年12月31日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

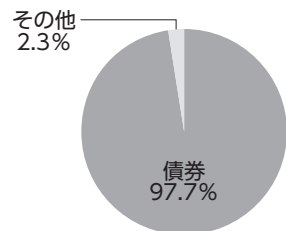
■組入上位10銘柄

(2020年12月31日現在)

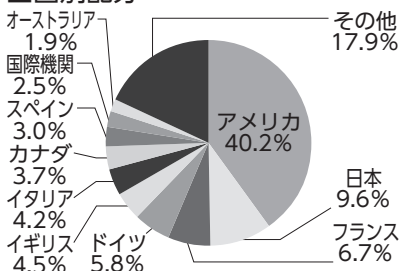
順位	銘柄名	発行国	比率 %
1	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 2025/7/1	イタリア	0.5
2	Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe 2027/11/15	デンマーク	0.5
3	United States Treasury Note/Bond 2022/11/30	アメリカ	0.4
4	French Republic Government Bond OAT 2028/11/25	フランス	0.4
5	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 2029/8/1	イタリア	0.4
6	Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe 2026/2/15	デンマーク	0.3
7	Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe 2030/8/15	デンマーク	0.3
8	United States Treasury Note/Bond 2025/11/30	アメリカ	0.3
9	United States Treasury Note/Bond 2022/9/30	アメリカ	0.3
10	United States Treasury Note/Bond 2025/2/28	アメリカ	0.3
組入銘柄数		12,682	

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

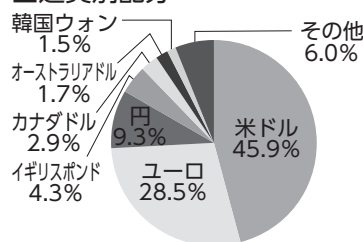
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)資産別・通貨別配分の組入比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の組入比率はポートフォリオに対する評価額の割合です。

(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。